



完全予約制です 電話072-990-5820

特定健診も予約制です。受診券・健康保険証・介護保険証（65歳以上の方）をご持参下さい。大腸がん検診・肝炎検診も行っております。



ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>

携帯版も共通です。
(softbankはv/をつけて)

メールマガジン（PC版、携帯版）を発行しています。
登録は、上記ホームページからできます。

休診の予定 8/14（金）、15（土）が夏休みです。

9/3（木）、9/12（土）の午前診は11時で終了します。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

なお、休診等の最新情報は、広報誌、ホームページ（パソコン、携帯）、メールマガジン（パソコン、携帯）にてご確認ください。

新型インフルエンザ、国内の感染者数は、5000人を超えました。うち1000人は大阪府内での発生です。（世界中では15万人です。ただし、診断がついた人数です。）

これだけ広がると、「発熱外来」だけでは追いつかないというか、意味がないということになり、一般の医療機関でも新型インフルエンザの診療を行うことになりました。それに伴い「発熱外来」「発熱相談センター」もなくなりました。

新型インフルエンザの相談（大阪府）は、下記までお願いします。

電話06-6944-6791（平日の午前9時から午後6時まで）

したがって、当院でも、かかりつけの患者さんが、インフルエンザの疑いがある場合には診察させていただきます。新型インフルエンザは、感染力が非常に強いので、診療には「空間と時間を分ける」ことが重要です。（空間とは、患者さんの動線ということになります。）

ご存じのように、出入り口も、待合室も、診察室も一つの当院では、「空間を分ける」ことは不可能です。したがって、「時間を分ける」しかありません。

通常の診察も、完全予約でお願いしておりますが、新型インフルエンザの疑いがある場合には、特に、必ずお電話をください。連絡なしに来院された場合、他の患者さんへの感染を防ぐために、出直して頂くか、院外の廊下でお待ち頂くこととなります。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9～12	○	○	検査	○	○	○	×
午後5～7	○	○	×	○	○	×	

- ・毎月初回の受診時には、必ず「保険証」や「医療証」をご持参下さい。
- ・他院で処方を受けておられる場合は、お薬手帳などをご持参ください。
- ・健診結果などをお持ちになった場合は、診察前に受付へお出しください。

当院では、デビットカード・クレジットカードをご利用頂けます。

インフルエンザの予防接種について

例年より早くご案内させていただきますが、詳細はまだわかっておりませんので、次号以降でお知らせいたします。

1. 季節性インフルエンザ（通常のインフルエンザ）の予防接種について

新型インフルエンザのワクチン製造に、鶏卵が回されましたので、昨年よりも製造される数が少なくなります。当院で確保できる数量も、当然ながら、昨年より少なくなると思います。

それでも、**かかりつけの患者さんには是非受けて頂きたい**ので、できるだけ確保したいと思えます。接種料金につきましては、昨年よりも若干高くなることをお知らせしておきます。

●65歳以上の方は、八尾市の公費負担がありますので、例年通り1000円の予定です。

●64歳以下のかかりつけの患者さんは、2000円前後を予定しています。

●かかりつけでない方は、3000円以上を予定しています。

※**かかりつけでない方は、ワクチンの数量に余裕がある場合のみ、予約を受け付けます。**

当院は、**予防接種も、完全予約制**とさせて頂いておりますが、

慢性疾患で定期的に来院される患者さんは、できる限り定期受診の際に予防接種を受けて頂きますよう、お願いいたします。

例年、下記の条件を一つでも満たす方を、優遇料金とさせて頂いております（今回の対象期間は、平成20年10月～21年9月です）が、**ワクチン不足の場合、①の方が最優先です。**

①慢性疾患で、4か月以上受診された方。

②慢性疾患以外で、6か月以上受診された方。

③特定健診を受けられた方。

④内視鏡検査、超音波検査を受けられた方。

⑤八尾市外から来院される、65才以上の方で、上記①～④の条件を一つでも満たす方。

※慢性疾患とは、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、慢性肝炎・肝硬変、胃潰瘍、ガンなどで、慢性疾患管理料、難病指導管理料、インスリン注射の指導料などを保険で算定している患者さんが対象になります。

※1か月間に何度受診されても、1か月として数えます。

2. 新型インフルエンザの予防接種について

こちらは、まだ情報が何も入っておりません。ただ、国内の製造量だけでは、かなり不足するそうです。詳細は、わかり次第、お知らせします。



医療器械ではありませんが、今月一番ご質問が多かったのは、待合室のテレビです。

2年後に、地デジ（地上デジタル放送）に移行しますので、あと2年間頑張ってもらおうと思っていたのですが、11年目に限界に近づきましたので、買い換えをしました。

画面の大きさは、37インチです。横長になりますので、買い換えの場合は大きめのものでないと、今までより画面が小さく見えるようです。ご注意ください。

なお、アンテナの関係で、地デジしかうつりませんので、ご了承ください。

感染性胃腸炎にご注意

最近、夏場に限らず、年中「お腹をこわす」方が多いように思います。大部分は、自宅で様子を見て頂いていい、軽症の胃腸炎ですが、時々、もっと早く診察に来られたらよかったのに・・・という方もあります。受診するべきかどうかの目安をお話しします。



1. 血の混じらない下痢だけで、吐き気や嘔吐がなく、熱もなく、体がしんどくもない場合

→水分の補給、消化のよい食事、整腸剤の内服、でいいと思います。

そのためにも、整腸剤（ビオフェルミンなど）を常備しておかれることをお勧めします。（右）は私の常備薬です。（540錠で1880円）

1回3錠と書かれていますが、私は、もっと（5，6錠）のみます。

2. 吐き気や嘔吐がある場合

→水分の補給や薬の内服が困難と思われるので、受診をお勧めします。吐き気止めを入れた点滴をすると、けっこう楽になります。

3. 熱がある場合

→高熱（38℃以上）のときは抗生物質の処方が必要な場合があります。また、ぐったりしている場合（おそらく脱水症）は点滴をする方がいいと思いますので、受診をお勧めします。

4. 血便が出た場合

→つよい病原菌の場合がありますので、受診をお勧めします。

日本人の平均寿命（平成20年）が発表されました。

男 79.29年（世界3位） 女 86.05年（世界1位） です。

みなさん、長生きですね！ 平均寿命とは、0歳時における平均余命をいいます。たとえば、80歳の男性の余命は、0ではなく、左下の表のように、約8.5年になります。**絶対に0にはなりません**のでご安心ください！

また、「特定死因を除去した場合の平均余命の伸び」という統計もあります。

右下の表ですが、悪性新生物（がん）で亡くなる人がいなくなったら、男性で4年、女性で3年平均寿命が長くなるということです。

年齢	平均余命	
	男	女
0	79.29	86.05
30	50.09	56.64
50	31.21	37.34
65	18.60	23.64
70	14.84	19.29
80	8.49	11.43
90	4.36	5.71

年齢	悪性新生物		心疾患	
	男	女	男	女
0	3.99	3.01	1.54	1.64
65	3.09	2.03	1.19	1.56
75	2.09	1.42	1.01	1.47
90	0.59	0.45	0.69	1.04

